

講座詳細

感染症①

2. 感染と感染症

(1) 病原微生物の種類

細菌
ウイルス
真菌
原虫



2. 感染予防策

嗽（うがい）

- ①手洗いを行う
- ②水を準備し口腔内でプクプク
うがいを行い吐き出す
- ③水で咽頭部までガラガラ
うがいを行い吐き出す



講座の内容解説

本講座では、まず感染症の原因となる病原微生物の種類、感染を起こす要因、感染経路について学び、感染症への知識を深めます。次に、感染症を予防するための対策や、ケア現場での消毒について、ご利用者様の抵抗力を高めるための健康管理について学びます。

ココがキャリアアップに繋がる！

本研修の目的は、感染症が発症するプロセスを知り、媒介を防ぐための感染対策方法の知識を持って、日頃からの利用者の健康管理を行うなど、感染予防、安全管理体制等についての基礎知識を理解し、実践できるようになることです。

■ カテゴリ：職能別（職種転換）

■ 講義タイトルと学習時間

■ 学習時間：合計1時間

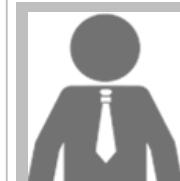
講義タイトル	学習時間（分）	講義タイトル	学習時間（分）
・研修の目的	3	・手袋	5
・病原微生物の種類	3	・うがい マスク ガウン	6
・感染を起こす三要因	3	・ケア現場での洗浄 消毒	10
・感染経路	5	・利用者の健康管理	3
・感染の発生予防と早期発見	5	確認テスト	5
・スタンダードプリコーション			
・手洗いの基本①	9		
・手洗いの基本②	3		

Point

- 病原微生物の種類や要因を学ぶことができる
- 感染経路を学び、感染症への知識を深める
- 安全管理体制等についての基礎知識を理解し、実践できるようになる

担当者様のご意見

感染対策法などの知識を持って、普段から行動できるようになれば、心強いですね。



講座詳細

感染症②

2. 感染症の早期発見

(2) 感染症を疑うべき症状

発熱

嘔吐・吐気・腹痛・下痢などの消化器症状

咳・咽頭痛・鼻水などの呼吸器症状

発疹（皮膚の異常）などの皮膚症状

尿の混濁・悪臭 リンパの腫れ



1. 外因性感染症

(1) 外因性感染症

外部環境から病原微生物が侵入して発症するもので、人から人に感染を引き起こすので集団感染の危険性が高い



講座の内容解説

本講座では、まず感染症の早期発見のために疑うべき症状やサインについて学びます。次に、介護の現場でよくある感染症として、内因性感染症（誤嚥性肺炎、尿路感染症、褥瘡感染症）と外因性感染症（MRSA、結核）、それぞれの原因や症状、予防と介護をする際の留意点について学びます。

ココがキャリアアップに繋がる！

本研修の目的は、感染症予防のための日常ケアを行い、感染の兆候や経過を知り異常を早期発見をすること、具体的な感染症の種類についての知識をもち、介護現場での予防実践に生かすことができるようになることです。

■ カテゴリ：職能別（職種転換）

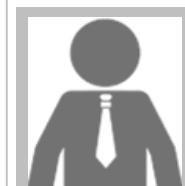
■ 講義タイトルと学習時間

■ 学習時間：合計1時間

講義タイトル	学習時間(分)	講義タイトル	学習時間(分)
・研修の目的	4	尿路感染症	6
・日頃の観察ポイント		・原因・どんな人がなりやすい？～	
・感染症を疑うべき症状	6	褥瘡感染症	11
・脱水症を疑うべき症状		・原因・どんな人がなるの？～	
・感染の要注意のサイン		・外因性感染症	2
・内因性感染症・常在菌	4	MRSA	4
・感染発生の経過		・原因・どんな症状がでるの？～	
・三大内因性感染症とは	2	結核	5
誤嚥性肺炎	11	・結核とは・どんな症状がでるの？～	
・原因・どんな人がなりやすい？～		確認テスト	5

Point

- 感染症の早期発見について学ぶことができる
- 内因性感染症と外因性感染症のそれぞれを深く理解することができる
- 感染症の知識を持ち、現場での予防実践に活かすことができる



担当者様のご意見

具体的な知識を持ち、早期発見につながれば、介護職員としてスキルアップに繋がりますね。

講座詳細

感染症③

4. インフルエンザ

- (2) どんな症状がでるの?
38℃以上の発熱
(高齢者は低いときもある)
関節痛・筋肉痛
風邪症状（せき・くしゃみ・鼻水）



8. エイズ

- (1) 原因
HIVウイルスに
・輸血（血液製剤）
・母子感染
・性行為や医療現場での血液感染
で免疫機能が低下する
感染後に約10年程度で発症する



講座の内容解説

本講座では、講座「感染症②」の続きとして、外因性感染症（疥癬、インフルエンザ、細菌性胃腸炎、ノロウイルス、ウイルス性肝炎、エイズ、レジオネラ感染症）、それぞれの原因や症状、予防と介護をする際の留意点について学びます。

ココがキャリアアップに繋がる！

本研修の目的は、感染症予防のためには生体外からの病原菌の侵入と標準感染予防策で媒介を防ぎ、体力や抵抗力を高める必要があることを知り、具体的な感染症の種類についての知識をもち、介護現場での予防実践に生かすことができるようになることです。

■ カテゴリ：職能別（職種転換）

■ 講義タイトルと学習時間

講義タイトル	学習時間（分）
・研修の目的	4
・外因性感染症とは	2
疥癬 ・原因・どんな症状がでるの？～	7
インフルエンザ ・原因・どんな症状がでるの？～	7
細菌性胃腸炎 ・原因・どんな症状がでるの？～	5
ノロウイルス ・原因・どんな症状がでるの？～	16

■ 学習時間：合計1時間

講義タイトル	学習時間（分）
ウイルス性肝炎 ・原因・どんな症状がでるの？～	6
エイズ ・原因・どんな症状がでるの？～	4
レジオネラ感染症 ・原因・どんな症状がでるの？～	4
確認テスト	5

Point

- 外因性感染症のより深いところを学ぶことができる
- 感染症の知識を持ち、現場での予防実践に活かすことができる

担当者様のご意見

具体的な感染症の種類についての知識を持つことはとても大切なことですね。

